

第 199 回リレー講演会（品質管理・生産管理分野）

■日時：平成 30 年 2 月 22 日（木） 14:00～17:00

※終了後（17:00～）名刺交換交流会開催

■会場：信州大学繊維学部内 AREC（上田市産学官連携施設 4 階）

講演 1

14:00～15:00

【演題】「Quality Control の行く末／The Future」

講師：国立長野高専 地域共同テクノセンター 特命教授／客員教授 浅沼 和志氏

【概要】日本における品質管理は、Quality Control をスタートとして、Q7、N7 などの様々な管理 Tool が開発され現在でも広く活用されています。その基本となるデータは数値あるいは非数値の特徴を持って“結果”として現れ、それらの時間的変化の Control の良し悪しが製品供給企業としての質を左右します。一方で、これらは組織の人々により行われ、データに向き合う人々（知識、モラル）の認識および行動が企業価値に大きな影響を与えます。今では、QMS としてシステムチックに Control される枠組みになっていますが、様々な課題に直面している事実も否認しません。本講演では、管理 Tool の有効活用ポイントにも目を向けながら、組織として今後活かすべき Quality Control の展望について、解説します。

講演 2

15:00～16:00

【演題】「圧力計測の信頼性を担保する計量標準
～JCSS校正によるトレーサビリティの確保～」

講師：長野計器株式会社 製造本部 品質保証部 計量標準課長 塚田 和正氏

【概要】長野計器グループは国内で最初に圧力の JCSS 認定事業者となり、圧力計の JCSS 校正事業を行っております。弊社が製造している圧力計の説明や最近取得した「差圧 JCSS 校正」の紹介も含め、圧力の JCSS の取り組みについて総合的なプレゼンテーションを行います。また、JCSS (Japan Calibration Service System) 計量法に基づく日本の校正事業者認定制度についてもご説明もさせていただきます。

休憩

講演 3

16:00～17:00

【演題】「効率的な生産活動の仕組みづくり」

講師：株式会社長野大崎製作所 代表取締役 矢田 由夫氏

【概要】生産活動の理想状態である「ジャスト・イン・タイム」を目指し、生産計画づくりのポイントおよび計画を実行するための要件である後工程引き取り、平準化、一個流しなどの重要性と必要性を解説してムダを徹底的に排除する生産管理システムを提案します。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377)

メール (mousikomi@arecplaza.jp)

FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

| | | | |
|-----------------------------------|---------|--------------------|--|
| AREC・Fi i プラザ 第 199 回リレー講演会 参加申込書 | | (平成 30 年 2 月 22 日) | |
| 企業・機関名 | | | |
| 参加者名 | | | |
| 所属・役職 | 電話番号 | | |
| メールアドレス | ファックス番号 | | |

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません